

出雲市出身の競泳選手 加藤 理さんが 全国大会3位入賞を市長に報告!

5月13日、出雲市出身の競泳選手 加藤 理おさむさんが、4月に行われた「第98回日本選手権水泳競技大会」男子100m背泳ぎで3位に入賞され、所属する山陰パナソニック(株)の関係者とともに出雲市役所を訪れ、飯塚市長に結果を報告しました。

島根県出身者の同大会での表彰台は、約30年ぶりの快挙で、加藤選手は、決勝で自己ベストとなる54秒79のタイムを出されました。また、200m背泳ぎでは5位入賞を果たされています。

今後に向けて、加藤選手は、「パリ五輪出場を目標に、まずは日本代表に入って経験を積み重ねたい。」と抱負を語られました。



「西浜いも」の苗の定植が始まりました。

5月17日、湖陵町かんしょ生産組合が運営する「西浜いも観光いもほり農園」にて、湖陵町特産のブランドさつまいも「西浜いも」の苗の定植作業が行われ、同組合の組合員など約20名が、約3,300本の苗を1本ずつ丁寧に植えていました。

西浜いもは、日本海の潮風を受け、ミネラル豊富な砂丘地で育った美味しいさつまいもで、ほくほくの食感が楽しめる「紅あずま」と、しっとり甘くて焼き芋に適している「べにはるか」の2品種があります。出荷は10月以降の予定で、地元のスーパー等でも販売されます。

本市のふるさと納税の返礼品に登録されているほか、加工業者への原料供給による加工品も販売されるなど、さつまいもブームに乗って年々、知名度も向上していますので、ぜひ皆さまもご賞味ください。

「米米田んぼ」での田植え体験活動が行われました。

5月24日、斐川町上直江地内にある学校給食米専用の田んぼ「米米田んぼ」にて、荘原小学校5年生児童による田植え体験活動が行われました。

この取組は、斐川町地域農業再生協議会が主催し、食農教育育成事業の一環として、平成17年度から「自分たちが食べる米の生産地を知ること、生産者と触れ合い、生産者への感謝の気持ちを持つこと、農作物を育てる喜びを学ぶこと」を目的として実施されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2年は中止となっていました。今回は、児童55名が参加し、水田のぬかるみに足を取られて悪戦苦闘しながらも、次第にコツをつかみ、上手に苗を植えていました。



出雲市立総合医療センター開設70周年「記念植樹」を行いました。



総合医療センターは、昭和27年5月26日に平田町外4村組合立「平田博愛病院」として開設され、このたび、開設70周年を迎えるにあたり、5月26日、飯塚市長はじめ関係者でハナミズキの記念植樹を行いました。

今回植樹したハナミズキには、ゆっくり育つという意味から「永続性」という花言葉が付けられているそうです。

今後、総合医療センターは、このハナミズキとともに、地域に愛される病院として、必要とされる医療機能と役割を十分に果たしながら、市民に信頼され、地域とともにあゆむ病院をめざしていきます。

	人口	前月比
人口	174,538人	(+230)
男性	84,913人	(+100)
女性	89,625人	(+130)
世帯数	69,200世帯	(+247)

【令和4年5月31日現在】

7月の市税・保険料の納期限

固定資産税・都市計画税(第2期)、国民健康保険料(第1期)、後期高齢者医療保険料(第1期)の納期限は

8月1日(月)です。

口座振替なら、対面による感染リスクを減らせます。
安心・安全・便利な口座振替をぜひご利用ください。